

審議事項①対象範囲について

１．対象範囲について

今回対象とするショーケースは、内蔵ショーケースのうち、ＪＩＳ Ｂ ８６３１－２（冷凍・冷蔵ショーケース－第２部：分類，構造，特性及び試験条件）：２０１１（以下「ＪＩＳ Ｂ ８６３１－２」という。）に規定する「内蔵クローズドタイプショーケース」及び「内蔵オープンタイプショーケース」とする方向で検討しているところ（２０１２年度における全出荷台数（１４９千台）のうち対象製品（１３４千台）の占める割合は９０％程度となる）。

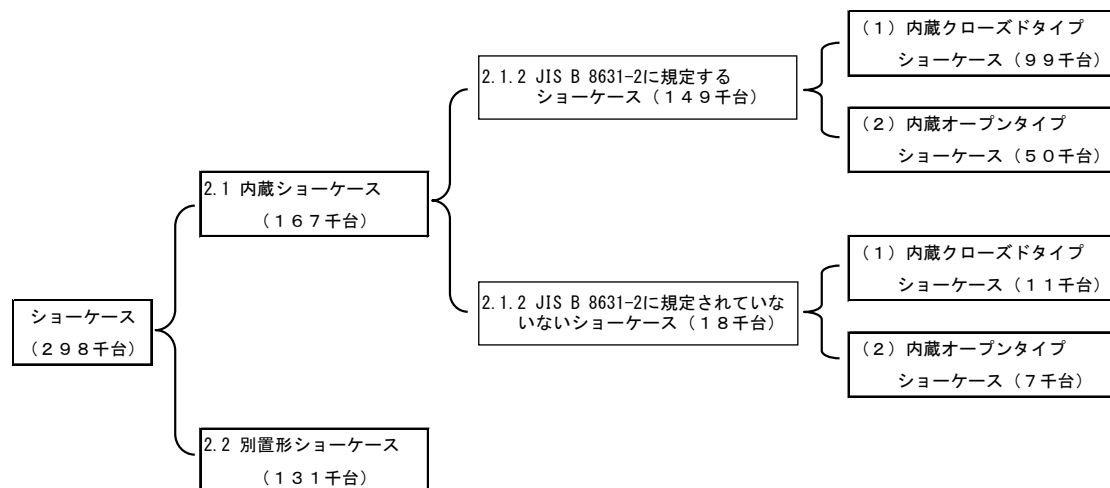


図１．製品区分一覧
（カッコ内は２０１２年度の出荷台数）

２．ショーケースの種類について

対象範囲となる内蔵ショーケースのうち、ショーケースの種類については、表１及び表２のとおり整理することが可能であると考えることができる。

表 1. 内蔵クロードショーケースに関する形状（製品）別平均陳列室内温度・
冷却方式・冷凍機の位置・扉の形態

J I S B 8 6 3 1 - 2に示された分類			J I S B 8 6 3 1 - 2に示されていない分類	
形状（製品の種類）	陳列室内温度帯 （平均陳列室内温度（℃））	冷却方式	冷凍機の位置	扉の形態
箱形ショーケース	冷蔵 （8. 0℃）	冷気自然対流形		
		冷気強制循環形		
卓上形 ショーケース		冷気強制循環形		
三面ガラス式 ショーケース				
四面（五面）ガラス式 ショーケース				
リーチインショーケ ース		冷気強制循環形	冷凍機上置き	スイング スライド
			冷凍機下置き	スイング スライド
リーチインショーケ ース	冷凍 （- 1 8. 0℃）	冷気強制循環形	冷凍機上置き	
			冷凍機下置き	
ガラストップ式 ショーケース		冷気自然対流形 冷気強制循環形		



箱形ショーケース



卓上形
ショーケース



リーチインショーケース
（冷蔵）（冷凍機上置き）



リーチインショーケー
（冷蔵）（冷凍機下置き）



リーチインショーケース（冷蔵）
（冷凍機上置き）



リーチインショーケース
（冷蔵）（冷凍機下置き）



三面ガラス式
ショーケース



四面（五面）ガラス式
ショーケース



ガラストップ式ショーケース

表 2. 内蔵オープンショーケースに関する形状（製品）別平均陳列室内温度・冷却方式・奥行き・陳列室位置

J I S B 8 6 3 1 - 2 に示された分類			J I S B 8 6 3 1 - 2 に示されていない分類			
形状（製品の種類）	陳列室内温度帯 （平均陳列室内温度（℃））	冷却方式	奥行き	陳列室位置		
多段形オープンショーケース （天井吹出形）	冷蔵中温 （ 8 . 0℃）	冷氣 強制対流形	厚形			
			薄形			
多段形オープンショーケース （背面吹出形）	冷蔵高温 （ 1 5 . 0℃）		厚形			
			薄形			
平形ショーケース	冷蔵低温 （ 4 . 0℃）				片面	
	冷蔵中温 （ 8 . 0℃）				両面	
					片面	
	冷蔵高温 （ 1 5 . 0℃）				両面	
					片面	
	冷凍低温 （ - 1 8 . 0℃）				両面	
					片面	
	冷凍中温 （ - 1 5 . 0℃）				両面	
					片面	
平形ショーケース （冷蔵と冷凍切替え式）	冷凍低温 （ - 1 8 . 0℃）					片面
						両面
	冷凍中温 （ - 1 5 . 0℃）					片面
						両面
平形ショーケース	冷蔵中温 （ 8 . 0℃）	冷氣 自然対流形		片面		
				両面		

	冷蔵高温 (15.0℃)			片面
				両面
	冷凍中温 (-15.0℃)			片面
				両面



多段形オープンショーケース
(天井吹出形) (厚形)



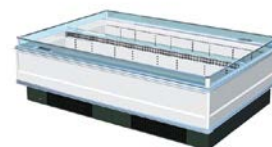
多段形オープンショーケース
(天井吹出形) (薄形)



多段形オープンショーケース
(背面吹出形)



平形ショーケース (片面)



平形ショーケース (両面)

3. 対象範囲の適用除外について

今回対象とするショーケースのうち、以下のものについて適用除外とする方向で検討することとしたい。

なお、適用除外にあたっての考え方として、原則1に基づき、以下に該当するものについては、対象範囲から除外することとしている。

- ①特殊な用途に使用されるもの
- ②技術的な測定方法、評価方法が確立していないもの
- ③市場での使用割合が極度に小さいもの

(1) 技術的な測定方法、評価方法が確立していないもの

①箱形ショーケース (冷気自然対流形) (図2)

陳列された食品の冷風による乾燥を防ぐため、高湿度を保つべく設計したもので、扉の開閉などによる庫内温度変化に対する復帰が非常に遅いことから、評価方法が確立しておらず対象外とする方向で検討してはどうか。

②多段形オープンショーケース (背面吹出形) (図3)

吹出口が背面側に後退し、実際の使用時に、この吹出口の外側（前面側）と吸込口の外側（前面側）を結んだ線から棚板がこの線より前に出るため、十分なエアカーテンを形成することが出来ないことから、評価方法が確立しておらず対象外とする方向で検討してはどうか。



図 2. 箱形ショーケース
(冷気自然対流形)



図 3. 多段形オープンショーケース
(背面吹出形)

(2) 市場での使用割合が極度に小さいもの

①リーチインショーケース（冷凍機上置き）（冷蔵）（図 4）

主として冷蔵食品や飲料などの保冷に使用されるものであり、出荷台数が少量であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（2012年度）：約1.0千台（0.6%）

②リーチインショーケース（冷凍機上置き）（冷凍）（図 5）

主として冷凍食品やアイスクリームなどの冷凍保冷に使用されるものであり、出荷台数が少量であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0.2千台（0.1%）

③多段形オープンショーケース（天井吹出形）（厚形）（図 6）

製品の外形奥行きが800mm以上あるため、設置場所や用途が限られており、出荷台数が少量であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（2012年度）：約1.0千台（0.6%）

④平形ショーケース（両面）（冷蔵）（図 7）

陳列室が手前と奥側に独立しており、製品の奥行きが1200mm以上あるため、設置場所や用途が限られており、出荷台数が少量であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0.3千台（0.2%）

⑤平形ショーケース（両面）（冷凍）（冷蔵と冷凍切替え式を含む）（図 8）

陳列室が手前と奥側に独立しており、製品の奥行きが1200mm以上

あるため、設置場所や用途が限られており、出荷台数が少量であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（２０１２年度）：約０．５千台（０．３％）

⑥平形ショーケース（冷蔵高温）（図９）

主として弁当や惣菜類の陳列用に使用されるものであり、２０１２年度の出荷台数が０台であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（２０１２年度）：約０台（０％）

⑦平形ショーケース（冷気自然対流形）

陳列室の側面を冷却することにより、陳列された食品類を冷却するものであり、２０１２年度の出荷台数が０台であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（２０１２年度）：約０台（０％）

⑧三面ガラス式ショーケース（図１０）

主として冷蔵食品や飲料などの保冷に使用されるものであり、２０１２年度の出荷台数が０台であることから対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（２０１２年度）：約０台（０％）

⑨特注品

カタログに記載されている標準仕様の製品に対し、顧客により製品仕様の一部変更（本体寸法、送風機の数・出力、ヒーター容量・設置位置、圧縮機出力、筐体の材質、照明の数・設置位置・出力）が決められた製品であって、年間出荷台数が１０台未満のものを対象外とする方向で検討してはどうか。

※出荷台数の推計（２０１２年度）：約１．１千台（０．７％）

（他の機器に比べ出荷台数は多いが、機種数は２００機種以上あるため、１機種当たりの台数は少ない。）



図４．リーチインショーケース
（冷凍機上置き）（冷蔵）



図５．リーチインショーケース
（冷凍機上置き）（冷凍）



図６．多段形オープンショーケース
（天井吹出形）（厚形）

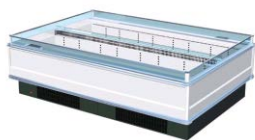


図 7. 平形ショーケース
(両面) (冷蔵)



図 8. 平形ショーケース
(両面) (冷凍)



図 9. 平形ショーケース
(冷蔵高温)



図 10. 三面ガラス式
ショーケース

表 3. 現在検討している対象範囲と適用除外 (クローズドタイプショーケース)

対象範囲					適用除外	
形状 (製品の種類)	陳列室内温度帯 (平均陳列室内温度)	冷却方式	冷凍機 の位置	扉の形態	2.	
箱形 ショーケース	冷蔵 (8. 0℃)	冷氣 自然対流形			(1)①	
		冷氣 強制循環形				—
卓上形 ショーケース						—
三面ガラス式 ショーケース						(2)⑧
四面(五面) ガラス式 ショーケース				—		
リーチイン ショーケース				冷凍機 上置き	スイング	(2)①
					スライド	
				冷凍機 下置き	スイング	—
	スライド	—				

リーチイン ショーケース	冷凍 (－１８．０℃)	冷氣 強制循環形	冷凍機 上置き		(２)②	
			冷凍機 下置き		—	
ガラストップ式 ショーケース		冷氣 自然対流形			—	
		冷氣 強制循環形			—	

表４．現在検討している対象範囲と適用除外（オープンタイプショーケース）

対象範囲					適用除外
形状 (製品の種類)	陳列室内温度帯 (平均陳列室内温度)	冷却方式	奥行き	陳列室位置	2.
多段形オープン ショーケース (天井吹出形)	冷蔵中温 (8. 0℃)	冷氣 強制対流形	厚形		(2)③
	冷蔵高温 (15. 0℃)		薄形		—
			厚形		(2)③
	薄形		—		
多段形オープン ショーケース (背面吹出形)	冷蔵中温 (8. 0℃)				(1)②
	冷蔵高温 (15. 0℃)				
平形ショーケース	冷蔵低温 (4. 0℃)			片面	—
	冷蔵中温 (8. 0℃)			両面	(2)④
				片面	—
	冷蔵高温 (15. 0℃)			両面	(2)④
				片面	(2)⑥
	冷凍低温 (-18. 0℃)			片面	
				両面	(2)⑤
	冷凍中温 (-15. 0℃)			片面	—
				両面	(2)⑤
平形ショーケース (冷蔵と冷凍切替 え式)	冷凍低温 (-18. 0℃)			片面	—
	冷凍中温			両面	(2)⑤
				片面	—

	(-15.0℃)			両面	(2)⑤
平形ショーケース	冷蔵中温 (8.0℃)	冷氣 自然対流形		片面	(2)⑦
	冷蔵高温 (15.0℃)			両面	
				片面	
				両面	
	冷凍中温 (-15.0℃)			片面	
				両面	

表5. 表3と表4を踏まえ今回対象とする方向で検討しているショーケースの種類

外気の遮断	形状	温度帯		冷却方式	扉の形態	ショーケースの種類
クローズドタイプ	箱形	冷蔵		冷気強制循環形	スイングスライド	箱形ショーケース
	四面・五面ガラス式				スイング	四面・五面ガラス式ショーケース
	リーチイン（冷凍機下置き）				スイング	リーチイン 冷凍機下置き冷蔵 スイング扉
					スライド	リーチイン 冷凍機下置き冷蔵 スライド扉
	ガラストップ式	冷凍		冷気自然対流形 冷気強制循環形	スライド	リーチイン 冷凍機下置き冷凍 スイング扉
						ガラストップ式ショーケース冷気自然対流形 ガラストップ式ショーケース冷気強制循環形
オープンタイプ	多段形（天井吹出形）（薄形）	冷蔵	中温	冷気強制循環形		多段形ショーケース 天井吹出形 薄形 冷蔵中温
			高温			多段形ショーケース 天井吹出形 薄形 冷蔵高温
	平形（片面）		低温			平形ショーケース 片面冷蔵低温
			中温			平形ショーケース 片面冷蔵中温
	平形（片面）	冷凍	低温			平形ショーケース 片面冷凍低温
			中温			平形ショーケース 片面冷凍中温

4. 勧告及び命令の対象外事業者について

法第79条第1項の規定に基づき、特定機器の製造事業者等に係る生産量又は輸入量の要件については、他のトップランナー対象機器では生産・輸入シェア概ね0.1%未満を目安として運用されているところ。

そのため、ショーケースにおいても同様に、生産・輸入シェアが0.1%未満の製造事業者等を特定機器の性能の向上に関する勧告及び命令の対象外とする方向で検討することが適当ではないか。